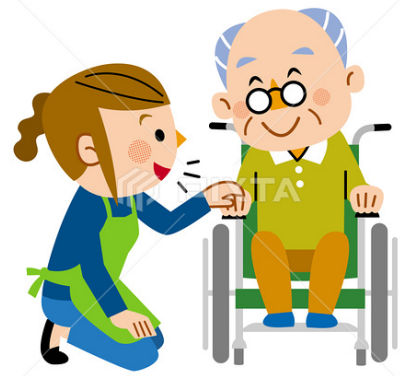


特養ホーム1000人分計画に見合う 介護人材の確保と処遇改善を！

「介護職が足りない！」今区内の特養ホームでも、深刻な状況です。区議団は地域の皆さんとともに、誰もが安心して年をとれる世田谷をつくるため、特別養護老人ホーム（以下特養ホーム）の1000人分建設計画を実現してきました。しかし、介護職不足で、特養ホームを満床にすることができない事態が起きています。

区に、介護職確保・処遇改善の積極的な支援を求めるため、私たちは区内全ての特養ホームを対象に、事業者と現場で働く介護職等の方々への実態調査を行いました。



区内の特養ホーム事業所と介護職等の方々にアンケートを実施！ 介護職152名の方から、回答が寄せられました！

区内には22ヶ所の特養ホームがあります。今回の調査では、訪問しての聞き取りは16施設、事業所アンケートは14施設、職員アンケートは152名の方から回答を得ることができました。

●「介護職の8割が「人員不足を感じている」と回答

「やや不足」「非常に不足」との回答の合計が79%

●「介護職の人員確保が困難な理由」

- 1位「賃金が低い」81.6%
- 2位「社会的評価が低い」65.8%

●「人手不足による支障」では、介護サービスの質の低下が懸念される内容

- 「丁寧な対応ができない」59.9%
- 「事故のリスクが高まっている」53.3%
- 「スケジュール通りに進まない」46.1%

●「介護職の確保に必要な月額手当」希望額1位「4万円以上」

4万円以上が38%「3万円」24%「2万円」19.8%と、賃金アップを求める声が圧倒的でした。全産業の平均と比べ月額10万円低いという介護職の処遇改善が切実に求められていることがわかりました。

今回のアンケートの結果、介護職の低賃金、社会的評価が低い等を要因に介護職の深刻な不足と介護の質の低下が顕在している状況が明らかになりました。

日本共産党区議団はこの結果をもとに、区に緊急対策を求め4つの提案を行いました。詳しくは裏面へ



高城

くにこ

2018年10月号

こんにちは たかじょう 訓子です！

日本共産党世田谷区議会議員 問合せ先：日本共産党区議団

〒154-0017 世田谷区世田谷4-21-27 tel:03-5432-2791 fax:03-3412-7480 携帯:090-6655-2003

介護職確保の緊急対策！

処遇改善など4つの提案を行いました！

9月18日に行われた区議会の第3回定例会代表質問で、日本共産党区議団は以下の緊急対策を求め4つの提案を行いました。

世田谷区の特養ホーム待機者は約1800人。区の1000人分特養ホーム建設計画の達成のため、質の高い介護サービスのためには、区としての積極的な介護職確保・処遇改善策が必要です。

<区議団の緊急対策と4つの提案>

緊急対策

区として、介護職の確保ができず、昨年の開設から1年経過しても、稼働率50%の区内の特養ホームへの積極的支援を行うこと。

4つの提案

提案① 区の責任において、1000人分増設計画に見合う介護職の確保にとりくむこと。

提案② 介護職の賃金が安い、社会的評価が低い現状の改善のため、月額手当。家賃補助等区独自の対策を行うこと。

提案③ 介護職のイメージアップなど、介護職確保の総合的対策が必要です。そのためまず、区として、現場の実態把握の努力、工夫を行うこと。

提案④ 国へ介護報酬引き上げを求めること。

●区長：総力をあげて介護人材確保・社会的評価の引き上げ・待遇改善に取り組んで行きたい・・・答弁

本会議では、高齢福祉部長から「介護人材の確保・育成、定着支援は、区としても喫緊の課題」と認識。「区独自に手当での創設は継続性の点からも難しい」等と消極的答弁にとどまりました。

その後、決算特別委員会の補充質疑では、アンケート結果を示しながら「区長の受け止め」を質しました。区長は、「・・・介護職は本当に大切な仕事で、命にかかわるもの。（介護職の社会的）評価を引き上げるとともに、賃金も同様に引き上げが必要と感じた。・・・国や東京都との連携を更に加速させるとともに、事業者、区、関係者と知恵をしぼり、総力を挙げて介護人材確保、その評価、そして待遇の改善に取り組んでいきたい。」と答弁しました。

介護職の確保は、介護の質に関わる重要な問題です。引き続き皆様とご一緒に、実現に向けて頑張ります！この問題について、ご意見。ご要望がございましたら、お聞かせください。

区議会議員たかじょう訓子